

Academic High School Program
Student Report

【学校生活と家庭生活について】

8 月分

Name 萩原 のぞみ

〈家庭生活〉

- 夏休み期間は宿題が出せず、今はカールスカウトや部活も活動が少ないため、HTたちは好きな時間に起き、好きな時間に食入、好きな時間に寝ている。
(そのため、時間を気にする必要がなく、1F家には時計がない。)
- 自分のchoresには責任をもって、きちんと取り組んでいる。
- 朝食、昼食の準備と洗濯は、全員が、自分の分は自分でしている。しかし、洗濯に関しては、いさいたたむことはせず、乾燥機からとりだした洗濯物のまま、それを洋服棚として使っている。
- 思っていたより生野菜を食入、味もおいしいが、手作りのものに限る。ファストフードは本当に味が濃く、おいしくない。
- 家族で過ごす時間が非常に多い。
(自尊心を育てる根源?と勝手に考えている。)
- 林檎いかにまに11ヶをした。日常会話の中に「I love you」が飛び交っている。

【日本と米国の違いについて】

- ① 休日に仕事を持ち込むことはせず、仕事・学校の事と、家庭のことを明確に分けている。
- ② 休日や就業時間外に仕事や学校の事を持ち込むことが多い。仕事、学業と家庭、アライバーンが一体化している。
(私のホストワークは)
- ③ ちょっとした事でもすくにお互いに褒め合う。
(普通の公立校だが、全員に)
- ④ あまり褒め合うこともなく、褒めると謙遜する。
(1ト110リユを配布し指導をする。)
- ⑤ 細かいところを気にしない。そのためか、器用でない人が多い。
- ⑥ 細部までこだわる人が多い。比較的器用である。
- ⑦ 自分の主張を通そうとする。自己主張をしっかりとる。「自分の主張で他人を不快な気持ちにさせないだろうか...」などは考えていないように見える。
- ⑧ 他人の主張を気にかける。自己主張を後回しにしがち。全体の和をみたさないように心かけている。
- ⑨ 社会のIT化が進んでいる。⑩ 社会のIT化が進んでいる。
(←)

Academic High School Program
Student Report

Name 兼原 のぞみ

8/21 金	アメリカによいよ到着! 空港への迎えには、HFが来てくれた。会話のスピードと発音の難さで、うまく話が通まない...。1erの発音の使い分けと、アクセントの重要性にここに来て、やっと気付いた。それでも、HFみんなが、根気強く私との会話に付き合ってくれているので、本当にありがたい。始まったばかりの留学生活に早くも不安を感じる。
8/22 土	今日は、AM8:00に起きるも、HFが全然起きてこなし。12:00を超えてやっと全員が揃ったくらいだったので驚いた。休みの日はこのくらいに起きるらしい。相変わらず会話のスピードの速さについていけない。特に、1番上のHTと話するときは速すぎて、聞き取りが全然できなし。やとのことで自分から会話を切り出しても、全部疑問形で始めてしまうので、答えをもらって、相づちをうておわら...。
8/23 日	今日の夕方からHDは仕事で、金曜の夕方まで帰ってこなしらしく、HDがいるおいないかで、大分雰囲気が変わるように思った。HTたちが目に見えてのびのびとし、調子にのり過ぎて、HMに強めに怒られていた。新たな一面を見た。夕食時は、人数が多いので、会話が途切れることはないが、私は全然会話に入れないので、非常にあせりを感じる。
8/24 月	今日は肩間はHPが仕事で、家にはおらず、HTとみんなでお昼を1本。食後は、各々部屋で過ごすようにだったので、私は、HTの本を読み始めた。読みどは単語が多いため、雰囲気と相手で読んでいくかんじ...。その後は得意なボードゲームをしながら、HTとの関係性を深めているが、夜になると、HTのテンションについていけないから、少し寂れる...
8/25 火	HTたちが、HMに日曜日に怒られ、それを引きずっているらしく、夕食時の空気が重いので、HMが食卓をたたすきに、「また、怒ってる?」「いつまでかやて、解決するの?」とHTに聞いたところ、「まあ、このが一番」と言っていた。しかし、その後、HTたちはうまく自分の私からの質問を利用して、HMとのいざこざを解決したらしい。細かいことの感りゆまが自分から言えず、利用されたか、とりあえず良かった...
8/26 水	今日の夕食は、2番目のHTと、自分で作った。HTの手際の良いさにびっくりした。今まで食事の手伝いほとんどしなかった自分を反省した。料理中は、できるだけ沈黙をつくらないように、と思ったが、会話のラリーが1ターン、多くて2ターンくらいで、相づちを打って返してしまっていることが多い。そのため、どうしても静かになってしまった。理由は単純で、私のリスニング力がないから。自分の単語を増やさない。
8/27 木	今日は、HTと、日本から持ってきた折り紙をした。アメリカ人の不器用さを実感した。折り紙を折る手順を英語で説明するのにとても苦労した。ある程度準備をしいても、とっさにことばが思い出さず、首をかしげられながら説明をした。最終的には、"like this"を多用し、実際に行程を見せて説明をしてしまった自分を反省。

今日、HTと見た「Catch me if you can」が非常に面白かった。全編英語で字幕もなく、自分なりにセリフも多かったのに、おもしろく感じさせてくれた。すばらしい映画だと思った。

Academic High School Program
Student Report

Name 萩原 のぞみ

8/28 金	今日は、HTのいとこ家族が遊びに来た。5才の男の子と3才の女の子がいて一緒に遊んだが、3才児の語彙に負けていると分かった。自分の英語力のなさにショックを受けつつも、いとこ家族とコミュニケーションして自分とりにいったのは良かったと思う。それにしてもトを含む単語が全然伝わらない。よほど意識しないと伝わる発音にならないから大変。とにかく、話して話して直していかなきゃ。
8/29 土	今日もいとこ家族と1日過ごした。5才の男の子が忍者が好きだが、「日本」という存在を知らなかったのので、忍者は日本から来ている、日本に本物は本物がいると言っていた。いとこ家族のお父さんは3ヶ月か陸軍隊員として沖縄基地に数ヶ月滞在していたらしい。その話になってから自分から話を展開できなかったし、もうリクエストをと、た方が良かったのに...と反省する。一方、今まで日本にある3ヶ月か軍基地に対し、単純な反感を抱いていたが、そこで働く人々も、同じ人間なのだと実感できる良い体験になった。
8/30 日	今日は、HFに写真を見せてもらいながら、CoupevilleやWhidbey島のことについて教えてもらった。半分も聞き取れず、聞き取ることに必死で、うまく反応を示せなかった。仕事の関係で、週末のみ家に帰ってくるHDは、気さくな人で、自分を楽しませようと、気を使っているのに、今は自分からこれといったことができていない。その一方、HTには、"You are helpful."と教えてもらったので嬉しかった。
8/31 月	今日はHTとひたすらドラマ、映画を見ていた。外部との関わりが全くないのかつら、夕食作りをHTと一緒に手伝った。夕食卓では、会話に入れない、自分に話かまわ、てきては流石とないで、自分にいさづ、とさと言葉が出ず、あまにになってしまう。本を読んだり、映画、ドラマを見たり、HFの話を開いたり、とインプットの行動ばかりしている。自分から話していかないと。
1	* 8月は、14日もなかったのので、毎日書いてみました。 毎日新しいことの連続で、書くことをいかにするかに迷うくらいでした。新型コロナウイルスでこのような状況下ですが、自ら積極的に行動して、日々の生活に変化慣れたり、マシナ
1	化しないようにしないと、と思います。 日々の会話が、思っていた以上に聞き取れず、この状態で学校生活を始めるのかと思うと、不安に思いますが、新たな人々と関わる機会を与えてくれると思っ、あくまでも前向きに
1	いきたいと思います。今のところはHFとそれなりに良い関係を築いているので、(互いのマイナス面を把握していないだけとも思いますが...)自分は独りたとは思わないうようにと思います。8月は、生活についていくのに必死でしたが、自分が必要とする努力量はこんなものではないと思っています。8月の自分を超えて、9月のこの欄を埋めたいと思う。